

1. オープンハウスの実施

- 推進戦略（ウォーカブルなまちづくりに向けた取組や考え方）を市民に周知し、取組の仲間（共感者）を増やすこと、市が検討したウォーカブルなまちづくりの考え方に対する意見をもらい、取組の方向性を確認・更新することを目的にオープンハウスを実施しました。
- オープンハウスでは、大宮駅周辺を土地利用や歴史・文化等の観点から設定した7つのエリアに対して、生活の中で日ごろ感じている印象（良いところや課題など）を付箋に記入してもらい、エリアの枠の中に貼ってもらいました。

開催概要

日 時	2024 年 2 月 25 日（日） 10：00～15：00
場 所	B i b l i （みんなのマルシェのイベントと連携）
意見募集 のパネル ※頂いた意見 は次頁参照	皆さんが日頃感じている「大宮駅周辺の印象」を教えてください 大宮駅周辺を土地利用や歴史・文化等の観点から7つのエリアを設定しました。各エリアについて、あなたが住む・訪れる中で感じている率直な印象（良いところ、課題など）を教えてください。 皆さんからいただいたご意見は、今後進めていくウォーカブルなまちづくりの取り組みの検討に活かしていきます。 やっていただきたいこと 1 各エリアに対する印象を付箋に書き、該当するエリアの枠の中に貼り付けてください。 2 すでに同様の意見が記載された付箋がある場合は、その付箋にシールを貼ってください。 大宮ウォーカブルシティ OWS WALKABLE CITY 桜木駐車場周辺エリアの印象 西口商業・業務エリアの印象 シンボル形成エリアの印象 西口居住エリアの印象 東口商業・業務エリアの印象 氷川参道エリアの印象 東口居住エリアの印象 わたしの時間がみちるまち、大宮 大宮駅周辺ウォーカブル推進事務局
当日の様子	

■オープンハウスでいただいた意見とその対応

エリア	コメント「エリアの印象」	赤丸※ の数	エリア別のウォークアブルな まちづくりの方向性への反映
シンボル形成 エリア	- 公園のような場所であってほしい - シンボル軸にあるように人が歩ける場所をもっと増やしてほしい	1 —	「公園のような滞在空間の形成」や「広幅員歩道の確保」として反映
氷川参道 エリア	- 氷川神社・大宮公園近くに飲食店がもっとほしい。参道沿いにも - 参道は緑があって夏は涼しいよ - おしゃれなお店が増えた、歩きやすい区間が増えた - とてもすてきな通り - 車を制御し、世界の街のサステイナブルモデルになってほしい - 緑もあってイメージが良い、散歩したいし、良い店いっぱい - 落ち着いた雰囲気 - 神社があるところ - 大宮アルディージャの試合で NACK5 スタジアムへ行くときに通る。士気が高まる良い通り - 緑が豊か - 参道が歩きやすく晴れの日には心地よい。ただし、参道は自転車通行可のため、たまにキケン	3 2 1 1 1 1 — — — —	「氷川参道の沿道と一体となった賑わい形成」や「氷川神社へつながる緑豊かで落ち着いた歩行者専用の空間の創出」として反映
東口商業・ 業務エリア	- あまりチェーンの店ばかりだとつまらない。大宮の個性的な店が増えると良いな - 路上喫煙者が多く、臭い、汚い - 客引きが多く、通行の妨げになっている - 門街に庶民的な飲食店がもっと入ってほしい - 大手のチェーン店が多く、選択肢に困らないけど個性のある店が少ないイメージ - 買い物ができるところ、飲食店が多くて楽しい	1 — — — —	「大宮駅の玄関口として、来街者や居住者をもてなす空間形成」として反映
西口商業・ 業務エリア	- おいしいお店があるところ - よく行くところ！遊ぶところが多いイメージ！（もっとあるといいな…！） - 商業、買い物するところ - 大型商業施設がたくさんある。その分他のお店に行く機会がない	— — — —	「働いている人や訪れた人が思い思いの過ごし方ができる」として反映
桜木駐車場 周辺エリア	- コンビニ - 意外と知られていない穴場なお店がありますよ	— —	「桜木駐車場の新たな土地利用と一体的な賑わい空間の創出」として反映

エリア	コメント「エリアの印象」	赤丸※ の数	エリア別のウォークラブルな まちづくりの方向性への反映
東口居住 エリア	• きれいすぎる図書館でゆったり読書サイコ ー	ー	「住民が集え、思い思いの過ごし 方ができるオープンスペース」や 「安全・快適にアクセスできる歩 行者ネットワーク」として反映
	• 公園で一休みしたり、遊んだり、いろいろと 楽しむことができます	ー	
	- 区役所通りは自転車通行エリアが明確にな っており、安全 - 一方、中山道は車が多く、信号無視の人が多 くいる	ー	
西口居住 エリア	• 建物がならび、色が少なく、殺風景な印象	1	「緑豊かな落ち着いたきのある住宅地 の形成」や「住民が集える滞在空 間の形成」として反映
	• 意外と知られていない穴場なお店がある よ！	1	
	• 混雑しすぎていないので犬の散歩もしやす い	ー	
	• ファミリー層が住みやすいマンションが増 えた。ショッピングセンターが使いやすい	ー	

※“赤丸の数”はエリアに対するコメントの共感する方の人数です。

2. 用語集

あ行	
一体型滞在快適性等向上事業	官民一体で「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを目指す区域（滞在快適性等向上区域）において、市町村による公共施設の整備・管理と一体となって、土地所有者等が交流・滞在空間を創出する事業のこと。
イノベーション	これまでとはまったく違った新たな考え方、仕組みを取り入れて、新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすこと。
ウェルビーイング	身体的・精神的・社会的に良好な状態。
ウォーカブル	「歩く」の“walk”と「～できる」の“able”を組み合わせで作られた「歩くことができる、歩きやすい」という意味で、民間投資と共鳴しながら「居心地がよく歩きたくなるまちなか」を形成すること。
エリアマネジメント	従来、建築物や個別の施設ごとに行われてきた様々な管理サービスを、地域や街区といったエリアに発展させていく考え方、仕組みのこと。
オープンスペース	公園・広場・河川・農地など、建築物などによって覆われていない土地の総称。人口が集中し建築物が密集すればするほど、憩いや交流の場として重要性を増す。また、防災面においても、延焼遮断帯や一時避難場所としての機能を果たす。
オープンハウス	事業やその進め方に関する情報を提供する場。行政が内部（インハウス）で検討している内容を一時的に公開（オープン）することから、オープンハウスと呼ばれている
か行	
環境インフラ	樹林地、農地、河川などの自然環境がつくる都市の基盤（インフラ）を示す。
既存ストック	都市における既存ストックとは、今まで整備されてきた道路、公園、下水道や公共施設、建築物等の都市施設のこと。
グランドレベル	街路、公園、広場、民間空地、沿道建物の低層部等、まちなかにおいて歩行者の目線に入る範囲。
グリーンインフラ	自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方。
広域幹線道路	高規格幹線道路、一般国道、主要地方道で、国土・地域の骨格を形成し、広域の物流・交流の役割を担う道路ネットワークのこと。
（土地の）高度利用	道路などの公共施設の整備水準が一定以上の土地について、有効な空地の確保や一定以上の敷地規模の確保などにより、良好な市街地環境を形成し、土地を効率的に利用し容積率を充足すること。
コンセプト	計画の基盤となる「概念」。 大宮駅周辺ウォーカブル推進戦略【活動編】で、大宮を取り巻く社会的動向や令和3年度に実施したマチミチコンペ、作戦会議での意見を踏まえ、「わたしの時間がみちるまち、大宮」をコンセプトとし、4つのウォーカブル戦略を掲げている。

さ行

シェア型マルチモビリティ

専用アプリケーションで電動アシスト付自転車やスクーター、超小型EVの設置場所の検索、利用予約、決済までの一連の手続きができるモビリティのこと。

市街地再開発事業

計画的な市街地の形成や既成市街地の整備を図るため、道路、公園、下水道などの公共施設の整備とあわせて宅地の利用増進、建築物の整備を一体的かつ総合的に進める事業。

セットバック

建築物を建築する際に敷地が接する道路の幅員を確保するため敷地を後退させること。

ゼロカーボン

CO2（二酸化炭素）を実質ゼロにすることを目指すこと。

た行

低未利用地

適正な利用が図られるべき土地であるにもかかわらず、長期間に渡り利用されていない「未利用地」と、周辺地域の利用状況に比べて利用の程度（利用頻度、整備水準、管理状況など）が低い「低利用地」の総称。

都市再整備計画

都市再生特別措置法に基づき、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域を対象として、市町村が作成する計画。

土地区画整理事業

区域内の土地所有者が土地を提供し合って、道路・公園などの公共施設用地にあって、土地の区画を整え利用価値を高めて、健全な市街地とする事業。

は行

バリアフリー

高齢者や障害者が生活する上で行動の妨げとなるバリア（障壁）を取り去った生活空間や環境のあり方をいう。

パーソントリップ調査

将来のまちづくりや交通計画などを検討するための基礎資料を得ることを目的に、「どのような人が」、「どのような時間帯に」、「どのような目的で」、「どのような交通手段で」、「どこからどこへ」移動したかなど、人の平日1日の動きを調査するもの。

ヒューマンスケール

人間の感覚や動きに適合した、適切な空間のこと。

プレイヤー

まちで活動をする人のこと。

フレキシブル

柔軟性があり、しなやかさを意味する表現のこと。

プローブパーソン調査

GPS 携帯電話等の移動体通信機器と Web を用いて人の通行行動を調査する調査手法のこと。

ポケットパーク

オープンスペース等を有効に活用した休憩施設が設置してある空間のこと。

ま行	
無電柱化	電線類を地中に埋設することなどにより道路上から電柱を無くすこと。景観の改善や防災、路上スペースの確保などを目的に行われる。
モビリティサービス	カーシェアリングサービスなど、自動車による目的地までの移動・運搬に関する様々なサービス。
モビリティ・ハブ	シェアリング型移動サービスを利用するための乗り換えスポットのこと。
や行	
ユニバーサルデザイン	障害の有無や年齢、性別、体格などにかかわらず、施設や製品、環境などがすべての人にとって使いやすく考えられたデザインのこと。
U	
UDCO	「アーバンデザインセンター大宮」のことで、大宮駅周辺のこれまでのまちづくりや国土づくりの方向性を踏まえ、市民、行政、企業、教育・研究機関など、様々な主体が広く連携しまちづくりを推進する基盤として、2017年3月に設置された。
W	
WEDO	居心地が良く歩きたくなるまちなかを構成する要素の「歩きたくなる：Wakable」「まちに開かれた：Eye level」「多様な人の多様な用途、使い方：Diversity」「開かれた空間が心地よい：Open」の頭文字をとって作られたスローガンのこと。